

平成29年度 公益社団法人静岡県栄養士会定時総会 議案

日 時 平成29年6月3日(土)
10時30分～16時00分
会 場 静岡県男女共同参画センター
あざれあ 6F 大ホール
静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

総 会 次 第

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 表 彰 会長表彰
受賞者謝辞
4. 来賓挨拶
5. 講 演
「静岡県の健康課題の現状と取り組み」
講師：静岡県健康福祉部医療健康局
健康増進課 課長 小嶋 由美 氏
6. 議長選出
7. 議事録署名人選出
8. 書記指名
9. 総会成立宣言
10. 議 事
 - (1) 第1号議案 平成28年度事業報告承認の件
 - (2) 第2号議案 平成28年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）
及び財産目録承認の件
 - (3) 報告事項 平成29年度事業執行計画について
 - ① 平成29年度事業計画の件
 - ② 平成29年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件
 - (4) その他
11. 特別講演
「管理栄養士・栄養士の知識で日本をもっと元気に！
～バランスよく食べる、朝食の意義を再確認してみませんか？～」
講師：神奈川県立保健福祉大学
保健福祉学部栄養学科 教授 鈴木 志保子 先生
12. 閉 会

深緑の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成28年度より新理事による事業の執行が始まり、早いもので1年が経過しました。

新理事にとってこの1年は、登り坂あり、下り坂あり、まさかの坂ありで冷や汗を流した理事もおられたことと思います。

何はともあれ、28年度事業を終え定時総会にて会員の皆様へご報告できること、尽力くださった各担当理事や運営委員、協力し支えてくださった正会員、賛助会員の皆様に深く感謝申し上げます。ここに、平成28年度の事業報告並びに決算報告につき提示致しました、正会員の皆様のご審議をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

さて、我が国が超高齢社会の渦中に突入したことはご承知のとおりです。高齢者人口は「団塊の世代」が65歳以上となった2015年に3,392万人、2042年には3,878万人のピークとなり、2060年には75歳以上の後期高齢者が総人口の26.9%となり4人に1人が75歳以上という時代を迎えます。どのような環境下でも、子供から老人まで食事を摂らない人はいません。正しい食習慣と運動習慣、そして社会参加が健康長寿に繋がります。多くの高齢者が健康長寿を達成し、次世代への負担軽減に繋げるためにも、私たち管理栄養士・栄養士の活動は必要不可欠です。

静岡県栄養士会が公益社団法人に改名し、早5年が経過しました。牛歩のごとくですが、県民の健康保持増進に寄与する公益目的事業比率も増し、栄養士会（管理栄養士・栄養士）の知名度についても、県民の間に広く浸透し始めております。

次年度に於いても、行政並びに関連職能団体との連携を強化し、栄養ケア・ステーションを通しての会員活躍の場を広げてまいります。ご理解ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

また、日本栄養士会は、8月4日を「栄養の日」とし、その週を「栄養週間」と決めました。全国の栄養士会が「栄養週間」に合せ、国民への広報イベントを展開いたします。

どうぞ、正会員・賛助会員の皆様、栄養週間を通し「健康長寿に役立つ正しい食習慣」が国民に定着するよう、広報活動にご協力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、正会員の皆様のますますのご健康とご多幸を、そして賛助会員の皆様には貴社の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

公益社団法人 静岡県栄養士会
会長 坪井 厚

第1号議案

平成28年度事業報告（案）

1 公益事業

I 公1 科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業

(1) 地域包括ケアシステム 公開講座

開催日	会場	内容	講師	参加人数
12月11日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	情報提供「健康寿命日本一に向けたふじのくにの挑戦」	静岡県健康福祉部 健康増進課 課長 土屋厚子	142
		和光市における超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの実践 マクロの計画策定とミクロのケアマネジメント支援 ～第7期介護保険事業計画を見据えて～	埼玉県和光市 保健福祉部 部長 東内京一	
		地域包括における管理栄養士の役割 ～地域高齢者の低栄養防止、重症化予防の事例より～	神奈川県大和市健康づくり課 地域保健活動担当係長 管理栄養士 田中和美	

(2) 健康栄養知識普及事業

開催日	名称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数
6月4日	歯と口の健康大会	御殿場市民会館	山内千代香・平間香織	1,453	500
6月5日	Let's go 歯ッピーウィーク	沼津市 サンウエルぬまづ	國武淑子	365	345
6月11日	第38回健康と歯のフェスティバル	裾野市民文化センター	荻野みづ江	555	204
6月18日	第11回おやま健康フェスタ	小山町総合体育館	稲 葉子・山内千代香	1,300	200
7月2日	健康フェア	静岡市南部保健福祉センター	金嶋祐子	256	46
7月2日	集団がん検診（龍山地域）	浜松市龍山森林文化会館	森口知世枝	92	91
7月3日	集団がん検診（龍山地域）	浜松市龍山保健センター	宮澤弘子	97	59

開催日	名 称	開催場所	担当栄養士	参加人数	啓発人数	
7月16日	健康まつり	静岡市長田保健福祉センター	成澤好美	188	39	
7月24日	健康まつり	静岡市北部保健福祉センター	金嶋祐子	812	47	
9月5日	はままつ食育発信店事業	浜松市 ユーコープ小豆餅店	上田規江	44	4	
9月7日	はままつ食育発信店事業	浜松市 遠鉄ストアフードワン南浅田店	木下初代	83	7	
9月18日	2016健康まつり	富士市フィランセ(保健医療課ブース)	曾根めぐみ・長田みのり	8,126	220	
9月18日	2016健康まつり	富士市フィランセ(健康対策課ブース)	村松美栄子・近藤真紀		200	
9月23日	はままつ食育発信店事業	浜松市 ビアゴ浜松泉町店	上田規江	50	9	
9月25日	健康まつり	湖西市健康福祉センター	本多美恵子・安田純世	1,280	157	
10月1日	健康まつり	静岡市東部保健福祉センター	村松路子	645	49	
10月16日	フェスタ南伊豆	南伊豆町役場 湯けむりホール	大沼美紀子	150	28	
10月16日	健康まつり	静岡市大里保健福祉センター	石垣史子	301	38	
10月22日	健康まつり	静岡市薫科保健福祉センター	倉澤由紀江	1,529	48	
10月23日	ふれあい広場	下田市市民文化会館	大沼美紀子	1,600	260	
10月29日	伊豆市社会福祉大会	伊豆市修善寺生きいきプラザ	宮地あけみ	1,500	250	
10月30日	みさくぼふれあい健康福祉まつり	浜松市 水窪保健福祉センター	森口知世枝・坂口ひろみ	358	101	
11月12日	健康まつり	静岡市城東保健福祉センター	金嶋祐子	1,694	55	
11月13日	健康フェスタ	伊東市役所	西島一恵・稲葉奈美江	779	42	
11月13日	市民すこやかふれあいまつり	三島市立市民体育館	神尾房子・國武淑子	9,000	110	
11月13日	ふるさとまつり	下田市 黄金崎クリスタルパーク	佐野ちえみ	4,000	60	
11月20日	健康福祉ふれあい広場	東伊豆町保健福祉センター	鶴丸さやか・西島一恵	594	200	
11月20日	健康フェア	掛川市生涯学習センター	鈴木順子・山本さとみ	2,000	160	
11月26日	食育フェスタ2016	清水町役場 1階住民ホール	大場洋子	950	104	
11月27日	まきのはら産業フェア	牧之原市役所 相良庁舎駐車場	木村郁代・大橋路代	500	200	
12月11日	スポーツ&健康フェスタinふじえだ2016	藤枝市 静岡県武道館	増田姫誉美・木村郁代	2,000	2,000	
計			31か所	43	42,301	5,833

(3) 健康づくり啓発協力事業

開催日	会 場	内 容	担当栄養士	参加人数
9月17・18日	ツインメッセ静岡	ふじのくにケアフェスタ2016 福祉栄養士の仕事紹介(パネル展示)、栄養士のおすすめメニューの紹介・栄養(塩分)クイズ、リーフレット等配布	岩崎智美・諏訪千智 関 明子・油井今日子 松井温子・田森稔浩 平田 碧・清水央子	500
10月8,9日	ツインメッセ静岡	しずおか元気応援フェア2016 体験型食育ブース「野菜を食べて 元気な体をつくろう」 「減塩を意識した食生活を目指そう」 野菜g当てゲーム、塩分当てゲーム、展示・相談コーナー、 野菜の摂取及び減塩のコツなどの相談、パンフレット・メニュー配布	奈良和幸・小林美佐枝 杉山貴紀・八木佳子 鈴木恭子・池ヶ谷謙 三輪真菜実・伊藤裕子	43,196
10月29日	サンウェル沼津	沼津市主催「菌っぴーフェスティバル」 減塩の必要性や家庭でできる減塩方法の紹介 減塩味噌汁の試飲、減塩に関するリーフレット及び天然だしパックの配付	小田恵子・佐竹利恵子	263
10月31日	浜名湖ガーデンパーク	浜名湖ガーデンパークボランティアの集い&百寿者に学ぶ健康 長寿の秘訣学習会 テーマ「野菜摂取」 野菜を使ったレシピの冊子、リーフレットの配布 地場野菜なぞなぞBOX体験、パネル展示	木下初代・原田陽子	110
2月27日	アクトシティ浜松 コンgressセンター	しずおか健康づくりサポーター連携・協働のつどい(浜松会場) 「食生活(栄養)」…美味しく減塩、高血圧の予防 展示・試食・リーフレット等配布	原田陽子・福山易枝	50

(4) 在宅介護者食生活支援研修会

開催日	会 場	内 容	講 師	参加人数
11月19日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	在宅高齢者の栄養管理	福岡クリニック在宅部栄養課長 日本在宅栄養管理学会 副理事長 中村育子	90

(5) 幼児から始める食育講座事業【静岡県地域農業課委託事業】

開催日	会場	内容	講師	参加人数	
6月25日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	食育推進リーダー研修会			32
		ふじのくに多彩な和の食文化の推進について	静岡県経済産業部農林業局地域農業課 地域農業班 主査 木野 桂子		
		楽しくできる幼児期の食育	東海大学短期大学部 食物栄養学科 教授 末永 美雪		
9～12月	幼稚園等 東部2ヶ所 中部2ヶ所 西部2ヶ所	【出前講座】 講義：幼児期に必要な栄養、和の食文化の良さ、地産地消、「食事バランスガイド」等への理解 調理実習及び試食	食育推進リーダー 東部：山下裕美 他2名 中部：神戸千恵子 他4名 西部：木下初代 他2名	126	

(6) 食の環境整備事業（栄養バランスの教育）【静岡県健康増進課委託事業】

働き盛り世代に向けて、自身の食生活を見直し、健康の保持増進と疾病予防に役立つ食生活管理に対する知識や、実践可能な情報を盛り込んだ指導用資料を作成した。資料は、テーマに合ったクイズでの啓発と、撮影した写真等を使った説明資料とし、パワーポイント146枚にまとめた。それらを使い、企業に出向き健康講座を開催した。

開催日	企業名	内容	担当栄養士	参加人数
2月9日	伊豆箱根鉄道(株)本社	テーマ「あなたの食事、大丈夫？ ～塩分・油・アルコール～」	白石明子・小田恵子 久保田裕子・平間香織	44
2月15日	(株)ノダ富士川事業所	テーマ「自分の食生活をふりかえろう！」	池谷広美・森田久美子 福山易枝・原田陽子 田山恵子・内野幸子	110
2月22日	日本食品化工(株) 富士工場	テーマ「あぶら（脂質）ってなに！」	池谷広美・森田久美子 白石明子・小田恵子 若林恭子	100

(7) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県衛生課委託事業】

食品表示法施行（平成27年4月）による加工食品の栄養成分表示義務化に伴い、一般県民及び食品加工業者を対象として制度の普及啓発を行った。一般県民に向けては、普及啓発用リーフレットを11,000部作成し、講話を行った。食品加工業者に対しては、講習会用テキストを450部作成し、県内3ヵ所で講習会を開催した。

開催日	会場	内容	講師等	参加人数
5月25日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	食品表示制度説明会 (静岡県健康づくり食生活推進協議会総会)	会長 坪井 厚	302
10月14日	島田市 プラザおおるり	静岡県栄養成分表示作成講習会 ・食品表示制度について ・栄養成分表示の算出方法について ・栄養成分表示の表示方法について	静岡県立大学食品栄養科学部 栄養生命科学科 准教授 市川陽子	136
10月21日	沼津市 プラザヴェルデ		東海大学短期大学部 食物栄養学科 助教 遠藤泰子	122
11月4日	磐田商工会議所		静岡英和学院大学短期大学部 食物学科 助手 佐藤美紀	83

(8) 外食料理栄養成分表示促進事業【静岡市食品衛生課委託事業】

実施時期	会場	内容	担当栄養士	参加店舗数
6～2月	静岡市内の飲食施設	店頭商品の栄養価計算 栄養成分計算、食事バランスガイド表示及びヘルシーメニュー・ヘルシーマーク表示指導	地域活動事業部 青野真奈美・石垣範子 加瀬澤啓子・神戸千恵子 齋能千夏・酒井みどり 深澤百合・山田優子 渡邊恵美子	24

(9) 外食栄養成分表示推進事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

実施時期	会場	内容	担当栄養士	参加店舗数
6～1月	富士宮市内の飲食施設	協力店・登録店の募集、協力店等の食事バランスチェック表示の確認、栄養成分表示計算及び表示作成、地産地消登録店メンテナンス、マップ配付、食飲名簿の作成	地域活動事業部 芦澤裕子・田山恵子 金塚円花・長島颯子 北川ふさ子・三浦順子 塩川知子・若林恭子 竹川美江・長田みのり 渡邊光世・仲間久美子	指導及び相談 延べ10 メンテナンス 60

(10) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加店舗数
7~1月	静岡県内の飲食施設	店頭商品の栄養価計算 栄養成分表示の指導	地域活動事業部 佐野ちえみ・山内千代香 木岐久美子・渡邊恵美子 原田陽子・深津恵子	東部 3 中部 2 西部 4

(11) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

開催日	会場	内容	担当栄養士	参加人数
12月7日	御殿場高等学校	高校生を対象とした講習会 ・食事バランスガイドの説明 ・簡単な野菜料理実習	小田恵子・平間香織	16
1月20日	富岳館高等学校		池谷広美・田山恵子	16
10月4日	焼津水産高等学校		青島千恵・小野田美津子	38
11月4日	たちばな(下田市)	飲食店を会場に、消費者に対し食事バランスガイドの説明と健康な食生活の講話を行う「美味しい健康講座」を開催	佐野ちえみ・小林裕子	21
10月27日	農(Minori)(御殿場市)		山内千代香・稲 葉子	21
11月11日	どんどこあさば あぐりレストラン(袋井市)		谷川照代・原田陽子	19
5~3月	学校、健康まつり等 県内39箇所	外食推進ガイドブック「副菜(野菜料理)お“ひとつ”召し上がれ」を活用した食事バランスガイド啓発活動	地域活動事業部 荻野みず江 他 約70名	(配付数) 3,767冊

(12) 栄養ケア・ステーション推進事業

登録者数	管理栄養士 203名 ・ 栄養士 27名	計 230名
------	----------------------	--------

①業務従事者研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
12月11日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	在宅訪問栄養食事指導研修会 事例発表 2例	小嶋汐美・小川陽子 高梨恵子・加藤百合子	39

②特定保健指導事業者(賛助会員)説明会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
9月13日	浜松労政会館	特定保健指導業務説明	SOMPOリスクケアマネジメント㈱ 担当者	3
	静岡労政会館			3
9月16日	沼津労政会館			6
3月28日	浜松労政会館			3
	静岡労政会館	3		

③職業紹介事業

求人数(本年度新規)	45件
求職者数(本年度新規)	14名
職業紹介者数	延べ15名
雇用契約成立数	8件

④受託事業

業務内容	受託件数	稼働日数	延べ人数	依頼元	内容 ()内は対象者数
特定保健指導	27	311	311	㈱ホームナース	トヨタ販売連合健康保険組合 トーエネック健康保険組合 シキシマパン健康保険組合 倉敷紡績健康保険組合 福山通運健康保険組合 面談・電話支援 (139人)

業務内容	受託件数	稼働日数	延べ人数	依頼元	内 容 ()内は対象者数
特定保健指導	32	107	119	テンプスタッフ・ライフサポート(株)	ホンダ健康保険組合 (ショーワ浅羽・ショーワ御殿場・八千代 工業四 日市・ホンダロジスティクス静岡 ・ホンダロジスティクス鈴鹿) JFE健康保険組合 (JFEスチール知多製作所) 富士フィルムグループ健康保険組合 (富士フィルム吉田南・足柄) あいおいニッセイ同和健康保険組合 (静岡・沼津) 面談 (352人)
	1	25	27	特種東海健康保険組合	島田工場 初回・中間・最終面談・電話支援 (21人)
	3	16	16	静岡県医師国民健康保険組合	診療所の職員 面談 (6人)
	1	24	24	㈱クックパッドダイエットラボ	東芝テック静岡事業所 面談・メール支援 (52人)
小計	64	483	497		
病態栄養 食事指導	1	1	2	富士市難病団体連絡協議会	難病患者総合相談会での個別栄養相談 (8人)
	1	58	58	富士通㈱沼津工場	個別栄養食事指導
	4	4	7	静岡県腎友会	市民健康セミナー・東・中・西部料理講習会(153人)
	11	11	11	ホトニクス・グループ健保	病態栄養食事指導
	1	1	1	静岡赤十字病院在宅訪問担当会	出前講座
小計	18	75	79		
在宅介護支援	3	35	35	浜松市	栄養改善事業:浜松市高齢者地域支援事業 (5人)
	6	6	6	㈱ホームナース	前期高齢者訪問相談事業 (4人)
	1	1	1	県立総合病院地域医療ネットワークセンター	慢性期医療を考える会 一般講演・栄養CS紹介
	1	1	1	静岡県在宅医療推進センター	講演・事例発表
小計	11	43	43		
食育支援	39	39	39	静岡市	あそび・子育ておしゃべりサロン事業 (市内こども園:未就園児対象) (376人)
	48	48	48	一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会	5 A DAY食育プログラム・食育体験学習 大型スーパーの食体験ツアー講師(1,251人)
	3	3	6	静岡県牛乳普及協会	骨密度測定会後の栄養相談 (290人)
	3	3	3	大塚製薬㈱	講演「ウエルネスセミナー」 (105人)
	1	1	1	静岡県学校給食栄養士会	講演 (280人)
	1	1	1	静岡県立清水東高等学校校定時制	教育講演「あたたかみのある定時制教育推進」 (70人)
小計	95	95	98		
食と健康支援	1	1	1	静岡県生活衛生営業指導センター	講演:調理師養成施設の学生向け (47人)
	1	6	6	ホトニクス・グループ健保	ホームページ掲載レシピ
	18	105	105	日本指導犬協会富士ハーネス	施設利用訓練者の食事調理・提供 (53人)
	1	1	1	高野山真言宗寺族婦人会	講演「食と健康増進」 (34人)
	2	2	2	そなえざあへしぞへか	介護施設向けBCP特別研修講演及び調理実習 (24人)
	8	8	8	静岡市地域包括推進本部	在宅医療出前講座「口から食べるということ」
	1	2	2	静岡県社会就労支援センター	知的障害者居宅介護職員初任者研修講師 (19人)
	1	4	4	静岡県庁健康指導課	健康づくり講習会 講師 (120人)
	1	18	18	静岡県食品衛生協会	調理師試験準備講習会講師 (315人)
	1	41	47	㈱建築資料研究社	シニアワークプログラム事業調理補助員講習 (20人)
	1	1	1	浜松市職員厚生課	メタボリックシンドローム予防講習会 (245人)
1	1	1	㈱トップアスリート	マイナビ進学FESTA社会人アドバイザー (38人)	
小計	37	190	196		
外食栄養成分表示	3	3	3	㈱TOKAI	ヘルシーランチ栄養価計算・表示物作成
小計	3	3	3		
合計	228	889	916		
その他	取材:SBSテレビ・ラジオ、朝日テレビ 等				

(13) 県民栄養調査に関する事業

国は、2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築を目指し推進している。
これを受け、静岡県栄養士会では、今後更なる在宅介護の増加を見据え、静岡県内の在宅介護における栄養ケア等についての現状を把握することを目的に、「地域包括ケアに関する調査」を行うこととした。28年度は、調査の内容を検討、決定し、具体的なアンケートの作成を行った。

(14) 広報事業

開催日	内容(広報部)	回数等	内容(情報管理)	回数等
4～3月	広報部会	2回	ホームページアクセス数	17,902件
	トピックス静岡作成会議(第9号作成)	1回	受信メール処理件数	5,674件
	メール部会	4回	送信メール処理件数	5,210件
	ホームページ更新(月2回)	24回	研修会、交流会等のWeb受付数	30件 1,386名
	メールマガジン配信(月2回)	24回	【研修会、交流会の申込み 全体 2,306名】	(全体の約60%)
	栄養士がすすめるメニュー応募数	7件	メールマガジン登録者数(新規登録者数)	719名(118名)

II 公2 県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業

(1) 定時総会講演会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
6月5日	静岡労政会館	21世紀の社会に求められる 栄養士・管理栄養士の展望	セントラル法律事務所 弁護士 公益社団法人日本栄養士会 監事 早野貴文	106
		健康寿命日本一 ふじのくにの挑戦 ～減塩55プログラムを中心に～	静岡県健康福祉部健康増進課 (課長 土屋厚子) 専門主査 赤堀摩弥	110

(2) 栄養士交流会

開催日	会場	目的	概要	参加人数
5月14日	浜松福祉交流センター	・非会員にも参加を呼び掛け、静岡県 栄養士会がどのような活動をしている か自作のDVD等により周知し、理解 を深める。	情報提供: 減塩・節煙・適塩の工夫(試食・サンプル紹介) 賛助会員紹介 交流会: グループ別、職域別の先輩に聞いてみよう! 連絡先カード交換会	37
5月21日	グランシップ (メディアケア・フーズ ショー)	・管理栄養士・栄養士の資質の向上 に向けた研修会申込方法などを理解 する。 ・同じ分野及び年代を超えて活動す る仲間づくり、情報共有をする。	交流会: グループ別、職域別の先輩に聞いてみよう! 後輩にも聞いてみよう! 坪井会長にも聞いてみよう! 紹介カード、連絡先カード記入	32
5月28日	サンウエルぬまづ		情報提供: 賛助会員フード・デリ 災害時の備え(非常食等) 交流会: グループ別、職域別の先輩に聞いてみよう! 同年代の仲間を探そう!	36

(3) 静岡県栄養士大会学術研究会・交流会

開催日	会場	ポスター発表内容	発表者	参加人数
2月11日	静岡県男女共 同参画センター あざれあ	①アレルギーインシデント年間件数ゼロを目指して	日吉洋絵	97
		②当院そらまめ応援外来における栄養指導の取り組み	山本友里	
		③リハビリを進めるための栄養管理～症例で考える～	加藤真己	
		④袋井市イベントでの「塩分チェックシート」調査結果及び使用効果について	関 明子	
		⑤栄養士養成施設における食と農の連携	前田節子	
		⑥福祉寺子屋の報告	諏訪千智	
		⑦しだはい食支援勉強会の食事形態展開マップができました!	寺田直哉	
		⑧地域保健機能としての薬局の役割	横田昂希	
		⑨血清リン濃度の管理における豆乳の有効性の評価	佐久間理英	
		⑩小児健診の結果と生活習慣アンケートの関連について	柳澤利哉	
		⑪北山中学校 早寝早起き朝ごはん運動	長谷川裕恵	
		⑫摂食障害の栄養指導の現状	高木圭子	
		⑬NCP活用に向けての取り組み	菅沼志保	
		⑭肥満患者における生活・食行動をふまえた栄養指導の実際—学童期・思春期を対象に—	桑原里沙	
		⑮緊急時の給食支援について	矢ノ下聖子	

(4) 生涯教育基本研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
8月27日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	リスクマネジメント	聖隷福祉事業団 保健事業部 古橋啓子	41
10月22日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	栄養診断	(一社)臨床栄養実践協会 理事長 足立香代子	177
11月5日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	非常時の緊急体制	静岡県健康増進課 専門主査 赤堀摩弥	43
11月27日	日本大学国際関係学部	栄養素の消化と吸収 水・電解質の栄養学	徳島大学 名誉教授 武田英二	89
3月25日	静岡県立大学 谷田キャンパス	栄養ケアプロセス(DVD)		46
3月26日	静岡県立大学	栄養ケアプロセス(DVD)	静岡県立大学 食品栄養科学部	30
		栄養ケアプロセス(演習)	准教授 新井英一	21

(5) 生涯教育実務研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
6月11日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	共催: (株)H+Bライフサイエンス 「腸元気」「腸快調」セミナー ～便秘・下痢対策の成功事例～	新阿武山病院 看護長 田崎牧子 栄養・給食室 井戸由美子	71
6月26日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	給食管理システム研修会	栄養管理普及会 代表 菅野廣一	15
7月2日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	外食栄養成分表示研修会	地域活動事業部理事 理事 池谷広美 部長 若林燕子	22
7月10日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	新栄養管理システム研修会	栄養管理普及会 若林燕子	5
8月27日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	食物アレルギー対応食の献立、調理について	湘北短期大学生活プロデュース学科 講師 林 典子	99
9月10日	アクティビティ浜松コングレスセンター	当院における摂食嚥下リハビリテーションの 取り組みについて	浜松市リハビリテーション病院 言語聴覚士 北條京子	80
		嚥下障害と美味しく食べてやすい嚥下調整食	病院長 藤島一郎	86
10月22日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	栄養診断で見つける薬物の副作用と実際	(一社)臨床栄養実践協会 理事長 足立香代子	178
11月27日	日本大学国際関係学部	病態栄養 がんの栄養学	徳島大学 名誉教授 武田英二	87
2月11日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	糖尿病治療の現状と課題 ～カーボカウントを含めて～	静岡県立総合病院 副院長 井上達秀	100

(6) 福祉寺子屋

開催日	会場	内容	講師	参加人数
7月2日	静岡県栄養士会事務所	栄養ケア・マネジメント中心の講義・グループワーク 専門研修会・全国福祉研修会の報告	福祉事業部 部長 寺田直哉	13
10月15日				8
1月28日				12

(7) 統計講座

開催日	会場	内容	講師	参加人数
10月8日	浜松医科大学	管理栄養士・栄養士のための調査研究の方法、 まとめ方—PART I—	浜松医科大学 医学部 健康社会医学講座	29
11月6日	日本大学国際関係学部	管理栄養士・栄養士のための調査研究の方法、 まとめ方—PART II—	助教 岡田栄作	19

(8) 地区別健康づくり推進研修会

①地区代表者会議：参加者（各地区代表者、副会長、地区事業部理事、研修部理事）

開催日	議 事 内 容
5月7日	①生まれ変わる栄養士会 ・栄養士の運営について ・研修部について ・地区別健康づくり研修会、地区イベントについて ・県等の主催・共催のイベントについて ・健康栄養知識普及事業について ②地区別健康づくり研修会 今年度の事業計画について ・各地区の研修会等の予定 ③事業報告書類及び会計報告について

②ブロック研修会

地 区	開催日 ・ 会 場	内 容	講 師	参加人数
東部 ブロック	10月23日 三島文化会館	地域における栄養ケア・マネジメント ～「食べる」を支えるために必要なもの～	神奈川県大和市健康づくり課 地域保健活動担当係長 管理栄養士 田中和美	62
		対談：ここまでできる！期待される管理栄養士、 栄養士の地域での活動	会 長 坪井 厚 管理栄養士 田中和美	
中部 ブロック	11月15日 静岡県男女共同 参画センターあざれあ	高齢者の糖尿病について	静岡済生会 部長 稲葉直之	47
西部 ブロック	10月21日 浜松市福祉交流センター	糖尿病の療養指導に最新の知識と実践	浜松医科大学医学部附属病院検査部 助教 釣谷大輔	50

③各地区の研修会

地 区	開催日 ・ 会 場	内 容	講 師	参加人数
東伊豆・ 賀茂	2月22日 伊東市民病院	栄養サマリーの活用・摂食嚥下対応食 情報交換会	三島総合病院 杉山清子	27
田方	11月16日 韭山時代劇場	慢性腎臓病患者の食事管理	(株)キッセイ薬品工業 ヘルスケア事業部 蒲田智宏	22
富士・ 富士宮	2月23日 富士いきいき病院	交流会 富士富士宮地区の生活習慣と 健康の課題 管理栄養士、栄養士のこれから	富士健康福祉センター 井上三千代 平塚歩実	32
清庵	7月23日 清水岡生涯学習交流館	脂質代謝異常 効果が上がる 栄養指導法～高コレステロール 血症の食事指導を中心に～	静岡県立大学食品栄養科学部 准教授 新井英一	23
中部	8月23日 静岡県男女共同 参画センターあざれあ	ナースから見た嚥下評価	静岡赤十字病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 増田江美	24
志太・ 榛原	6月29日 藤枝市生涯学習センター	高中性脂肪血症患者に対する効果的な栄養 指導について 基礎から応用まで	静岡県立大学食品栄養科学部 准教授 新井英一	47
	9月5日 藤枝市生涯学習センター	腎臓病について	焼津市立病院総合診療内科医長 腎臓内科専門医 池谷直樹	44
	2月4日 榛原総合病院	情報交換会 防災について これからの地区活動 他	—	19
中東遠	12月6日 月見の里学遊館	食生活の実態と課題 「減塩・節塩・適塩」～健康長寿のために～ 健康イベントでの「塩分チェック表」使用効果 ～袋井市イベント結果報告～	西部健康福祉センター 健康増進課主幹 江間章子 中東遠地区代表 川上栄子	28

④地域住民への健康づくり啓発活動

地 区	開催日 ・ 会 場	内 容	従事者数
東伊豆・ 賀茂	10月23日 東伊豆町奈良本公民館	「東伊豆町奈良本ヘルシーウォーク」へ参加 骨密度測定支援、結果説明 「そのまんな料理カード」を利用し食事バランスガイド説明、アドバイス、栄養相談 等	5
田方	10月29日 修善寺生いききプラザ	「伊豆市社会福祉大会」へ参加 テーマ「減塩」 減塩メニューの提案、レシピや減塩関連試供品の配付、試食、栄養相談 等	7

地区	開催日・会場	内容	従事者数
志太・榛原	10月23日 吉田町健康福祉センター	「第34回ふれあい広場—ふれあつてくらすしあわせ吉田町」へ参加 テーマ:—もしもの時に備えて—あなたの準備は大丈夫? 非常食「サバ缶ご飯の試食、非常持ち出しリュック・非常食の展示、子ども向けクイズ、野菜摂取推進チラシ配布	7
中東遠	5月28日 袋井市総合健康センター	「総合健康センターフェスティバル」へ参加 おいしい減塩食(展示・クイズ) 今なら聞ける! 栄養相談	10
西部	2月11日 浜松市高台協働センター	「高台協働センターまつり」へ参加 食事バランスの基本、ライフステージごとの食生活に関するパネル展示 生活習慣病、バランスの良い食生活のためのレシピ集、リーフレット配布、 栄養相談	5

(9) 災害時栄養支援事業

静岡県栄養士会は、平成25年5月10日災害対策基本法第2条第6号に基づく「指定地方公共機関」の指定を受け、災害支援体制の整備構築を図っている。

会議開催状況	静栄DAT運営会議 第10回:11月5日 (運営委員10名)	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の連絡体制について ・静岡県栄養士会における災害対策マニュアル作成について ・平成29年度事業計画・予算計画(案)について ・運営委員会の開催について ・リーダー交流会開催について ・スタッフ養成研修会開催について ・JDA-DATリーダー養成研修会派遣について ・東海北陸ブロック会議での調整について
静栄DATスタッフ登録	11月5日の研修会受講者に登録を呼びかけた。登録者数101名(平成29年3月31日現在)		
災害支援会議及び研修会への派遣	第1回JDA-DAT運営委員会	9月4日	寺田直哉
	第6回JDA-DATリーダー育成研修会	9月17日～19日	市川陽子・佐久間理英 佐野文美・古橋啓子 藤本沙紀

・災害時栄養支援研修会

開催日	会場	内容	講師	参加人数
11月5日	静岡県男女共同参画センターあざれあ	災害時栄養支援スタッフ養成研修会		41
		大規模災害時の医療救護体制の概要	静岡県地域医療課 主査 鈴木孝樹	
		静栄DATの活動について ～熊本地震での栄養士活動を中心に～ (グループ検討含む)	静栄DAT中部ブロックリーダー 寺田直哉	

2 収益事業

収1 販売等の収益事業

特定保健指導用資料を販売した。

・「げんき! 家族応援団」冊子、100Kcalマメブック、目標シール等

3 会の運営に関する事項

(1) 定時総会開催

開催日	会場	出席会員数	議案事項
6月5日	静岡労政会館 大ホール	出席者 125名 書面による表決 614名 計 739名 (正会員総数 1,443名)	平成27年度事業報告承認の件 平成27年度貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件 役員選任の件 日本栄養士会代議員承認の件 平成28年度事業計画の件 平成28年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件 定款細則改正の件

(2) 理事会開催状況

開催日	会 場	出席人数	議事内容
第1回 4月23日	静岡県栄養士会事務所	22	平成27年度事業報告及び決算の理事会承認の件 平成28年度定時総会及び講演会の運営について 学生会員の設置について 研修計画について 栄養ケア・ステーション事業における提案について 表彰候補者の推薦について 他
第2回 6月5日	静岡労政会館	19	熊本地震支援金について 地区別代表者会議について 本日の定時総会の運営について 静岡県栄養士会会長表彰被表彰者の決定について 他
第3回 6月5日	静岡労政会館	21	代表理事（会長、副会長）の選任について 理事の役割分担について 他
第4回 6月12日	静岡県栄養士会事務所	24	平成28・29年度事業担当理事の決定について 災害時の支援積立金について 平成28年度の生涯教育（基本・実務）研修会について 平成28年度理事会及び平成29年度定時総会について 栄養関係功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について 運営委員の選出について 研修会開催に関する広報及び会計事務手続きについて 会員名簿作成について 他
第5回 7月24日	静岡県栄養士会事務所	22	日栄の栄養ケア・ステーション認定制度に基づく申請事業所の審査について 平成28年度研修計画について 生涯教育基本研修について 第2回静岡県栄養士大会について 静岡県健康増進課委託事業「食の環境整備事業」について 静岡県衛生課委託事業「食品表示適正化・活用普及事業」について 平成28年度知事功労別表彰（保健衛生功労）候補者の推薦について 日栄「未来のトップアスリートのための体感型スポーツ栄養セミナー」について 会員名簿作成について 他
第6回 10月1日	静岡県栄養士会事務所	21	地域包括支援について 平成29年度の予算編成について 地域包括ケアシステム研修会について 広報部「トピックス静岡第9号」作成スケジュールについて 広報部「栄養士のおすすめメニュー」について 公益法人立入検査について 静栄D A T事業について 東海北陸地区会長等合同会議報告について 他
第7回 12月10日	静岡県栄養士会事務所	21	地域包括ケアシステム研修会について 第2回静岡県栄養士大会について 平成29年度栄養士交流会について 平成29年度定時総会について 平成28年度生涯教育単位認定申請について 平成29年度生涯教育（基本・実務）研修会について 平成29年度事業計画及び予算編成について 広報部トピックス静岡第9号について 他
第8回 1月21日	静岡県栄養士会事務所	23	平成29年度の予算編成について予算編成について 第2回静岡県栄養士大会について 平成29年度栄養士交流会について 平成29年度定時総会について 平成29年度生涯教育（基本・実務）研修会について 静栄事務所を時間外に研修会会場として提供することについて 他
第9回 3月18日	静岡県栄養士会事務所	20	平成29年度事業計画及び収支予算案の承認について 当会の個人情報の守秘義務取扱いに関する規程について 平成29年度の研修会等について 収益事業について 理事会での勉強会について 災害時支援ジャンパー兼イベント活動ジャンパーの作成について 他

(3) 年間活動報告

①公益社団法人日本栄養士会定時総会

平成28年6月26・27日【会場：東京】

出席代議員：坪井 厚、鈴木真理子、岡本康子、新井英一、古橋啓子、若林恭子、寺田直哉

②公益社団法人日本栄養士会 諮問会議

第1回：平成28年5月14・15日 第2回：平成29年2月11・12日 【会場：東京】

出席者：坪井 厚

③東海北陸地区会長等合同会議

平成28年9月24日・25日【会場：石川県】

出席者：坪井 厚、岡本康子、寺田直哉、日置朝子、鈴木真理子

④公益社団法人日本栄養士会職域事業部全国代表者会議・研修会などへの派遣

職域名	開催日	開催地	名 称	氏 名		
医 療	4月16・17日	東京	病院・医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための 全国リーダー研修会	岡本康子	渡邊美子	
	8月27日	名古屋	第1回東海北陸地区リーダー育成研修会	岡本康子	久保田美保子	鈴木恭子
	2月4・5日	石川	第2回東海北陸地区リーダー育成研修会	岡本康子	久保田美保子	
学校健康教育	11月28日	東京	学校健康教育事業部全国研修会	長谷川裕恵		
勤労者支援	10月23日	神戸	勤労者支援事業部ネットワーク会議	福山易枝	—	—
研究教育	1月7・8日	静岡	全国研究教育栄養士研修会及び 研究教育事業部全国リーダー研修会	篠原啓子	小嶋汐美	
公衆衛生	4月16日	東京	全国行政栄養士育成のためのリーダー研修会	赤堀摩弥		
	10月23日	神戸	公衆衛生事業部自由集会	(欠席)		
地域活動	10月23日	神戸	地域活動事業部スキルアップ研修会	若林恭子		
	11月27日	富山	地域活動事業部東海北陸ブロック研修会	若林恭子		
	1月27日・28日	名古屋	地域活動事業部全国リーダー研修会及び 公衆栄養活動研究会	若林恭子	池谷広美	原田陽子
福 祉	10月8日	東京	全国福祉栄養士研修会	寺田直哉	田森稔浩	
	3月4・5日	東京	福祉事業部全国リーダー研修会	寺田直哉		
生涯教育	11月5日	東京	日本栄養士会生涯学習担当者会議	渡邊美子	若林恭子	

⑤他団体との連携

内 容	開 催 日			
静岡県給食協会総会、他	6/17	2/2		
静岡県健康づくり食生活推進協議会総会	5/25			
静岡県腎友会総会	7/3			
静岡県牛乳普及協会 料理コンクール審査、他	9/14	10/2		
地域包括ケア推進ネットワーク会議	7/25	3/13		
静岡県栄養士養成施設協議会連絡会議	11/26			
静岡県健康福祉大会	10/7			
静岡県保険者協議会・作業部会合同会議	2/23			
ふじのくに健康寿命日本一推進会議	3/22			
8020推進静岡県大会、住民会議、部会	8/3	10/26	11/27	2/2
静岡市食育推進会議	9/28			
静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会、部会	1/31	2/7	3/14	
静岡県減塩55プログラム検討会	2/15			
静岡栄養・代謝のつどい	3/11			
静岡県男女共同参画推進会議	8/8	10/24	3/6	

⑥表彰に関する事項

表彰日	項 目	内 容	受 賞 者
6月5日	静岡県栄養士会	栄養指導業務功労者	平野綾子 他6名
10月7日	静岡県知事	栄養指導業務功労者	芹澤正江 関 明子
10月24日	厚生労働大臣	栄養指導業務功労者	佐野ちえみ
10月24日	日本栄養士会	会長表彰(25年業務貢献者)	鈴木修子 他16名
		会長表彰(役員歴3期以上)	寺田直哉
2月13日	日本公衆衛生協会	公衆衛生事業功労者	久保田美保子

(4) 会員の状況 (平成29年3月31日現在)

①名誉会員 2名

②正会員 (会費納入人数)

継続会員	1,255名
新入会員	139名
計	1,394名

職域事業部別会員数 [※名誉会員は含まない。]

医療	学校健康教育	勤労者支援	研究教育	公衆衛生	地域活動	福祉	計
517名	89名	33名	49名	109名	259名	338名	1,394名

◎会員増に向けての取り組み状況

i 「メールマガジン会員制度」 (平成18年度から実施)
(再掲) メールマガジン登録者 719名 (平成28年度末)

ii 「お友達紹介制度」 (平成25年度から実施)
平成28年度 制度利用の入会者 18名

iii 「栄養士交流会」の開催

新たに、非会員にも参加を呼び掛け、県内東部、中部、西部の地区ごとに「交流会」を開催し、栄養士会の運営及び事業等について理解を深めてもらい、入会を勧めた。
また、情報交換など交流を図り、仲間づくりの応援をした。

③賛助会員 65社

貸借対照表

平成 29年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,551,956	13,418,940	133,016
未収金	800,000	1,529,186	△ 729,186
貯蔵品	49,625	53,634	△ 4,009
仮払金	22,300	0	22,300
流動資産合計	14,423,881	15,001,760	△ 577,879
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
災害支援積立預金	50,000	0	50,000
記念事業積立預金	1,660,971	1,609,401	51,570
特定資産合計	1,710,971	1,609,401	101,570
(3) その他固定資産			
什器備品	3	3	0
電話加入権	72,800	72,800	0
敷金	306,000	306,000	0
その他固定資産合計	378,803	378,803	0
固定資産合計	2,089,774	1,988,204	101,570
資産合計	16,513,655	16,989,964	△ 476,309
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	50,200	△ 50,200
前受金	4,256,000	7,638,000	△ 3,382,000
預り金	5,673,580	3,932,000	1,741,580
流動負債合計	9,929,580	11,620,200	△ 1,690,620
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,929,580	11,620,200	△ 1,690,620
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	6,584,075	5,369,764	1,214,311
(うち特定資産への充当額)	(1,710,971)	(1,609,401)	(101,570)
正味財産合計	6,584,075	5,369,764	1,214,311
負債及び正味財産合計	16,513,655	16,989,964	△ 476,309

正味財産増減計算書

平成 28年 4月 1日 から平成 29年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
受取入会金	139,000	150,000	△ 11,000
受取会費			
正会員受取会費	13,243,000	10,815,000	2,428,000
賛助会員受取会費	1,935,000	2,025,000	△ 90,000
受取会費計	15,178,000	12,840,000	2,338,000
事業収益			
公 1	12,744,480	10,526,351	2,218,129
公 2	32,000	143,200	△ 111,200
収 1	2,400	752,328	△ 749,928
事業収益計	12,778,880	11,421,879	1,357,001
受取負担金			
各研修会負担金	173,000	1,704,000	△ 1,531,000
受取寄付金			
受取寄付金	70,000	0	70,000
雑収益			
受取利息	2,774	4,051	△ 1,277
雑収益	409,230	416,380	△ 7,150
雑収益計	412,004	420,431	△ 8,427
経常収益計	28,750,884	26,536,310	2,214,574
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,042,075	5,841,080	△ 1,799,005
福利厚生費	506,975	626,818	△ 119,843
旅費交通費	3,156,230	3,651,883	△ 495,653
通信運搬費	983,013	1,375,117	△ 392,104
減価償却費	0	20,800	△ 20,800
消耗品費	1,045,296	1,025,130	20,166
修繕費	79,098	74,852	4,246
印刷製本費	461,874	121,644	340,230
光熱水料費	65,245	57,632	7,613
賃借料	585,892	589,367	△ 3,475
保険料	79,441	84,824	△ 5,383
諸謝金	9,160,625	8,415,454	745,171
租税公課	255,340	90,000	165,340
支払負担金	208,024	28,482	179,542
地代家賃	1,010,151	1,050,329	△ 40,178
委託費	435,252	874,163	△ 438,911
渉外費	82,885	92,854	△ 9,969
会議費	162,596	125,567	37,029
雑費	35,404	15,095	20,309
事業費計	22,355,416	24,161,091	△ 1,805,675

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	2,037,505	1,143,930	893,575
福利厚生費	464,236	179,897	284,339
会議費	147,011	106,178	40,833
渉外費	6,720	6,180	540
旅費交通費	410,318	283,742	126,576
通信運搬費	271,972	309,448	△ 37,476
減価償却費	0	9,303	△ 9,303
消耗品費	134,128	168,894	△ 34,766
修繕費	40,026	33,472	6,554
印刷製本費	81,394	2,904	78,490
光熱水料費	33,015	32,422	593
賃借料	257,884	142,374	115,510
保険料	40,199	37,926	2,273
諸謝金	5,000	5,000	0
租税公課	9,670	925,000	△ 915,330
支払負担金	102,516	7,758	94,758
地代家賃	511,161	469,687	41,474
委託費	621,241	181,325	439,916
雑費	7,161	6,750	411
管理費計	5,181,157	4,052,190	1,128,967
経常費用計	27,536,573	28,213,281	△ 676,708
評価損益等調整前当期経常増	1,214,311	△ 1,676,971	2,891,282
当期経常増減額	1,214,311	△ 1,676,971	2,891,282
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減	1,214,311	△ 1,676,971	2,891,282
当期一般正味財産増減額	1,214,311	△ 1,676,971	2,891,282
一般正味財産期首残高	5,369,764	7,046,735	△ 1,676,971
一般正味財産期末残高	6,584,075	5,369,764	1,214,311
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,584,075	5,369,764	1,214,311

財 産 目 録
平成29年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金 普通預金 定期預金 未収金 仮払金 貯蔵品	現金	手元保管	運転資金として	48,305
	普通預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.12300-15650791)	同上	4,463,603
		郵貯銀行/名古屋貯金事務センター (No.00870-9-57832)	同上	4,174,080
		静岡銀行/呉服町支店 (No.1285838)	同上	2,702,512
	定期預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-12)	同上	2,163,456
	未収金	静岡県 食の環境整備事業	28年度委託料 繰越納付済	800,000
	仮払金	手元保管	源泉所得税額	22,300
貯蔵品	手元保管	郵便切手	9,497	
	手元保管	栄養ケア・ステーションツール	40,128	
流動資産合計				14,423,881
(固定資産)				
特定資産				
記念事業 積立預金	記念事業 積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-01)	記念事業として使用	103,592
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-02)	同上	103,592
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-03)	同上	101,997
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-10)	同上	100,160
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-11)	同上	901,440
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-13)	同上	100,120
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-14)	同上	100,060
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-15)	同上	100,010
		郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-16)	同上	50,000
災害支援 積立預金	災害支援 積立預金	郵貯銀行/静岡伝馬郵便局 (No.52360-4104099-17)	同上	50,000
その他固定資産				
什器備品 電話加入権 敷金	什器備品 電話加入権 敷金	パソコン 他		3
		#282-5507 他		72,800
		事務所家賃敷金		306,000
固定資産合計				2,089,774
資産合計				16,513,655
(流動負債)				
前受金 預り金	前受金	平成29年度静岡会費		4,256,000
	預り金	平成29年度 日栄会費 他		5,673,580
流動負債合計				9,929,580
固定負債合計				0
負債合計				9,929,580
正味財産				6,584,075

監査報告書

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 坪井 厚 殿


平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日迄）の事業報告及び附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録及び附属明細書を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

平成29年4月19日

公益社団法人 静岡県栄養士会

監事 紅林 真佐代 

監事 秋谷 真志子 

平成 29 年度公益社団法人静岡県栄養士会事業計画

I 基本方針

公益社団法人静岡県栄養士会は、すべての人の「自己実現をめざし健やかによりよく生きる」との県民のニーズに応え、保健・医療・福祉・教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的かつ高度な技術に裏付けられた食と栄養の指導を通し公衆衛生の向上に寄与することを目的として事業計画を立てました。

今年度の事業内容の特徴

- ・ 少子高齢社会から生まれる国民への負担を、食と栄養の科学的知識の啓発をもって、多職種と連携し、社会貢献するための事業を実施します。
- ・ 重点項目実現のため、就労する管理栄養士・栄養士が皆会員となるよう、魅力的な事業を展開し、会員数増加による組織力強化を図ります。
- ・ 会員が習得した知識を、社会で十分に発揮できるような研修会や情報交換会を企画し、管理栄養士・栄養士が、より多くの国民・県民の支持を頂ける事業を推進します。
- ・ 自然災害での食支援体制の構築に向け、日栄DAT並びに県防災対策室との連携強化を図ると共に、会員の支援活動への理解を深める事業を実施します。

II 重点項目

- 1 県民の健康の保持増進を目的に、0歳児から高齢者までライフステージに応じた栄養管理を支援します。また、その技術を習得するための講演会・研修会・勉強会を開催します。
- 2 栄養ケア・ステーションでは、安心して安全、且つ効率的に健康保持増進に役立つ食に関する知識を提供する管理栄養士・栄養士を紹介します。
 - ・ 健康保険組合の特定保健指導の推進に連携協力し、県民のメタボリックシンドローム（生活習慣病）の予防に努める管理栄養士の紹介を引き続き実施します。
 - ・ 県内各地区の医師会との契約締結を推進し、生活習慣病の重篤化予防のための栄養食事指導を行う管理栄養士を紹介します。
- 3 県・市町の健康づくり担当課等と連携し、県民の健康保持増進と疾病予防等の政策に協力します。
- 4 傷病者の病気回復、合併症予防、社会復帰支援等の病態栄養食事指導を行います。そのための最新情報の習得、科学的根拠に基づく食支援等の技術向上研修会を開催します。医療費の支出をできる限り減額とするための栄養管理と食支援を行います。
- 5 高齢者施設入所者の健康と身体機能の保持向上のため、高齢者個々人に合った栄養管理と食支援を目指します。介護保険料の支出を最小限に抑えるよう栄養管理と食支援を行います。また、その技術向上のための研修会を開催します。
- 6 関連職能団体との連携を深め、県民の健康保持増進と傷病者への支援、生活習慣病予防、高齢者の栄養管理など、県民が生きがいをもって生活できる社会の実現に資するための公益的な事業を推進します。
- 7 在宅療養者・居宅要介護者に対し、地域包括支援センターを中心とする関連職種と連携を図り、栄養管理と食支援の推進に努力します。
- 8 国・県・市町に対し、本会の目的である県民の食を介しての健康保持増進と健康寿命の延伸に資するため、必要な政策等の要望を提言します。
- 9 静栄DAT（災害支援チーム）組織強化のための会員研修・DATリーダー・スタッフの育成を推進します。

Ⅲ 公益目的事業

公1	科学的根拠に基づく食と栄養の指導や支援を通して、県民の公衆衛生の向上に寄与する事業				
(1) 健康栄養知識普及事業					
内容	県内各市町で実施する健康まつり等のイベントで行う栄養教育全般(展示、栄養相談、講話等)について、各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣することにより、望ましい食生活の知識普及や情報提供を行い、「食を通して人を育む」県民運動の推進に協力する。				
実施時期・回数	5月～2月 ・30回	会場	各市町保健センター等	参加予定人数	40,000人
(2) 健康づくり啓発協力事業					
内容	各種公共団体が実施する県民を対象とした講座・セミナー等に各地区在住の管理栄養士・栄養士を派遣し、食育を中心に、健康や食品に関する体験学習活動を実施し、健康づくりのための啓発事業に協力する。				
実施時期・回数	8月～3月 ・5～6回	会場	ツインメッセ等	参加予定人数	3,000人
(3) 在宅介護者への食生活指導講演会					
内容	超高齢化が進む中で、病院等における在院日数の短縮等により、在宅で療養する人が増加している。そこで、包括支援センター職員にも参加を呼び掛け、心身に障がいのある在宅者や介護者のQOLの向上を目指し、適切な栄養管理を支援するための講演会を開催する。				
実施時期・回数	11月 ・1回	会場	あざれあ	受講予定人数	90人
(4) 幼児から始める食育講座【静岡県茶業農産課委託事業】					
内容	乳幼児の保護者を対象に、「食育推進リーダー」により、日本型食生活の効用、子育て時に必要な食事等の知識普及のための講義及び県内農産物を使用した子育て期に相応した調理実習等の体験活動を提供する。				
実施時期・回数	5月～2月 ・6回	会場	幼稚園等	受講予定人数	150人
(5) 食の環境整備事業(栄養バランスの教育)【静岡県健康増進課委託事業】					
内容	働き盛り世代における望ましい食生活の実現に向けて、栄養バランスの教育の推進を図る。 ①働き盛り世代向け指導用資料作成 ②指導用資料を用いたモデル事業所における出前講座の実施 ③作成資料及び講座に関する検討				
実施時期・回数	7月～2月	会場	企業事業所	受講予定人数	200人
(6) 食品表示適正化・活用普及事業【静岡県衛生課委託事業】					
内容	食品表示法施行に伴い、新しい食品表示制度により栄養成分表示が義務化されたため、加工食品業者に対し、栄養成分表示作成の説明と技術的な演習を行い、受講者が自ら栄養成分表示の作成ができるよう指導する。もって、不適正表示を未然に防止する。また、静岡県健康づくり食生活推進協議会会員を対象とする食品表示説明会に講師を派遣する。同協議会会員に情報提供することにより、会員から地域住民への周知を図る。 ①中小食品関連事業者対象講習会の講話とテキスト作成 県内3会場(東・中・西部 各1回) 対象者数:約450人 ②静岡県健康づくり食生活推進協議会会員への栄養成分表示等の説明と説明資料作成 年1回(6月) 対象者数:約300名				

(7) 外食料理栄養成分表示推進事業【富士宮市フードバレー推進協議会委託事業】

内容	富士宮市内において、栄養成分表示店を増やすよう飲食店への啓発と指導を行うとともに、既存の栄養成分表示店には、表示のフォローアップ及び表示メニューを増やすことなどを指導する。特に、地場産品の食材を使用したメニューのある「地産地消登録店」を増やし、食のまちとしての活性化を図る。				
実施時期	4月～2月	会場	富士宮市内飲食店	実施予定店舗数	10店

(8) 飲食店等の栄養成分表示定着促進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内容	静岡県飲食業組合に加盟する店舗に対し、栄養成分表示の啓発と指導を行うことにより、県民の健康づくりや疾病予防の向上を図る。				
実施時期	5月～2月	会場	県内飲食店	実施予定店舗数	9店

(9) 元気を見つめる外食活用推進事業【(公財)静岡県生活衛生営業指導センター委託事業】

内容	静岡県教育委員会と連携し、県内の高等学校において生徒を対象に、栄養に関する講義と外食料理を取り入れた食事指導のための調理実習を行う。また、飲食店を会場に、外食利用者(主に中高年者)への栄養成分表示等に関する講義を行い、栄養知識の普及啓発を図る。更に、一般県民を対象とした栄養相談等において「食事バランスガイド」普及啓発のための冊子「副菜おひとつ召し上がれ」を活用し、県民の健康増進の啓発を図る。				
実施時期	5月～2月	会場	高等学校3カ所 飲食店3～4カ所	受講予定人数	200人

(10) 指導者のための健康・栄養セミナー【(公社)日本栄養士会委託事業】

内容	大塚製薬(株)の後援により実施し、栄養学に関する著名な講師を招き、専門知識を学ぶ場とする。				
実施時期 ・回数	未定 ・1回	会場	未定	受講予定人数	100人

(11) 栄養ケア・ステーション推進事業

内容	急速な高齢化や生活習慣の変化により疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管障害、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加している。このため、「健康日本21」に基づき、平成20年度から生活習慣病予防や保健指導等の実施に係る活動拠点として、全国の中でも、先進的に事業を進めている。事務局にコーディネーターを配置し、行政、医療機関、福祉施設、民間企業等から仕事を請け負い、登録会員に下記業務を提供しており、有料職業紹介事業所の資格も有している。業務遂行のため、必要に応じて研修会を開催する。 ①特定保健指導 ②病態栄養食事指導 ③在宅介護支援栄養指導 ④栄養相談、栄養指導 ⑤食育支援栄養指導(食育体験学習指導を含む) ⑥外食料理栄養成分表示指導 ⑦食や栄養に関する情報提供、資料作成				
----	--	--	--	--	--

(12) 県民栄養調査に関する事業

内 容	県民の健康に関する様々な視点における栄養調査を2年に1度実施し、結果をホームページ上に掲載している。平成28年度は、地域包括ケアシステムにおける訪問栄養食事指導の実態把握を目的としたアンケートを作成した。平成29年度は、アンケート調査の実施、集計、分析を行い、ホームページの掲載を予定している。
-----	---

(13) 広報事業

内 容	<p>栄養士に関わる法律等は、目まぐるしく変化している。それらの情報をいち早く収集し、会員及び県民に情報提供するため、静岡県栄養士会はホームページ、メールマガジンを充実させてきた。今後は、より利便性を高めるためのシステムを構築することを検討していく。</p> <p>また、県民に対して『「栄養士会」が何をしているところなのか、また、管理栄養士・栄養士の仕事を身近に感じてもらう』ことを周知できるような取り組みも検討し、社会認知、地位向上を図る。</p> <p>・ホームページ更新(月2回) ・メールマガジン配信(月2回) ・トピックス静岡第9号 発刊 ・「栄養士のおすすめメニュー」募集、配信</p>
-----	---

公2	県民の健康維持増進を目的とし、他職種との連携を図り事業を推進するために、管理栄養士・栄養士の資質を向上する事業
-----------	---

(1) 定時総会講演会

内 容	<p>年1回の定時総会の基調講演を開催する。</p> <p>他職種にも参加を呼び掛け、国民の健康づくりの推進と資質向上、専門職としての自己実現、各職域の管理栄養士・栄養士が情報収集できる場を提供する。</p> <p>2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。スポーツ選手はもちろんのこと、世界各国に日本の食事・栄養の素晴らしさを伝える良い機会となる。このようなことから、今回はスポーツ栄養の内容を含めた最新情報を提供する講演会とする。</p> <p>(仮題)「管理栄養士・栄養士の知識で、日本をもっと元気に！ ～管理栄養士・栄養士のフィールドを広げるために～」</p>				
実施時期 ・回数	6月3日	会場	あざれあ	受講予定人数	300人

(2) 栄養士交流会・フレッシュマン研修会

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県栄養士会の活動を知る。 ・資質の向上にむけた研修会申し込み方法などを理解。 ・同じ分野、年代を越えて活動する管理栄養士・栄養士の仲間づくり、情報共有 				
実施時期 ・回数	5月～12月 ・3回	会場	グランシップ等	受講予定人数	30人/回×3

(3) 静岡県栄養士大会(学術研究発表会及び交流会)

内 容	<p>静岡県栄養士会独自の事業として、平成27年度より開催し、3回目となる。毎回種々な職場から100名を超える管理栄養士・栄養士が交流を図り、参加者からは良い刺激を受けたとの評価を得た。学会発表はハードルが高いと感じられる人には、本会からスタートし、自己研鑽を積み、質の高い管理栄養士・栄養士としてさらに飛躍するための場を提供する。平成29年度は更により多くの参加者を募り、会員の取り組みや成果を共有し、さらなる発展を目指す。</p>				
実施時期 ・回数	2月10日 ・1回	会場	中部地区	受講予定人数	120人

(4) 生涯教育基本研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持するための基本研修会を開催する。 栄養ケアプロセス等(講義及び演習)				
実施時期 ・回数	7月～1月 ・6回	会場	あざれあ等	受講予定人数	延べ 120人

(5) 生涯教育実務研修会

内 容	日本栄養士会の生涯教育制度に基づき、非会員にも参加を呼び掛け、管理栄養士・栄養士として継続的能力を維持するための実務研修会を開催する。 7月 2日 「栄養診断」足立香代子先生 8月26日 「アレルギー対応にいかす面談技法」鈴木恭子先生 9月 3日 「パワーポイントの効果的な活用」篠原啓子先生 9月30日 「高齢者と栄養」吉田貞夫先生 10月22日 「全身状態から見る栄養管理」谷口英喜先生 12月 2日 「特定保健指導からの糖尿病予防」津下一代先生 2月10日 「病態栄養講座」(栄養士大会)				
実施時期 ・回数	7月～2月 ・8回	会場	あざれあ等	受講予定人数	60～120人/回×8

(6) 福祉寺子屋

内 容	福祉事業部会員の抱えている問題は様々であり、大勢が不安を抱え業務を行っている現状がある。このため、少しでも不安が解消できるように、栄養ケア・マネジメントを材料に、寺子屋形式での勉強会を開催する。				
実施時期 ・回数	未定 ・3回	会場	静岡県栄養士会 事務所等	受講予定人数	20人/回×3

(7) 統計講座

内 容	管理栄養士・栄養士は、データの集計や解析する力を持つことが必須である。「効果」や「実績」を数値で表現し、「見える化」に取り組む必要がある。また、研究会や栄養士大会などで研究、調査発表ができる栄養士が求められている。そのため、研究デザインの構築やまとめ方、さらにはどのような統計手法を選ぶべきか等、初歩的なことから学び直す講座を開催する。				
実施時期 ・回数	未定 ・1回	会場	東部地区	受講予定人数	30人

(8) 地区別健康づくり推進事業

内 容	県内を9地区にわけ、各地区において小規模研修事業やイベントを企画運営し、地域に密着した県民の健康づくり支援を推進する。また、県内東部・中部・西部の3ブロックごとに研修会を開催し、会員の居住地の近いところで研修を受けることができるようにする。これにより、会員相互の情報交換、仲間づくりの機会とし、会員の継続入会や新規会員の増加をめざす。 ①東・中・西ブロック研修を企画・運営(年3回) ②各地区小規模研修を開催 ③地区別イベントの開催 ④県内で行われる大規模イベント等への出展協力 ⑤代表者会議やブロック別運営会議の開催 ⑥市町や県との事業への積極的参加により、栄養士会の理解及び周知
-----	---

(9) 災害時栄養支援事業

内 容	予想される東海地震等災害発生時に備え、有事の際に直ちに県・市町に協力し活動できる組織(静栄DAT)の体制を強化するとともに、災害時における食支援に役立つ知識・技術の習得のための研修会を開催する。 ①災害時栄養支援スタッフ養成研修会開催 1回(11月) ②静栄DAT運営委員会開催 ③JDA-DATリーダー育成研修会への受講者派遣
-----	---

IV収益事業

収1	販売等の事業
内 容	特定保健指導に使用するツール、書籍等の販売を行う。

V その他

(1) 事業部運営

① 職域事業部

職域事業部名	運 営 方 針
医 療	平成28年度診療報酬改定への各病院の対応と栄養食事指導の効果を検証する。適切な栄養ケアプロセスを理解し、有効に活用できるような研修会を開催する。地域包括システムをどのように他職種と連携し推進していくか、体制づくりを検討する。
学校健康教育	小中学校、特別支援学校及び夜間定時制高校において、学校給食の栄養管理と食に関する指導を通して、幼児、児童生徒、県民の健康増進、生活習慣病予防に寄与する。
勤労者支援	働く人々を健康にする社会の実現に貢献、健康寿命延伸を推進する。また、一次予防・0次予防を推進し、健康で働く人々を増やし、元気な日本にするための仕組みをそれぞれの立場で一緒に提案していく。
研究教育	県内5つの養成校の連携をより密に図り、栄養士会に対する学術面のサポートおよび、栄養士会への学生の参加なども検討し、体制を整備する。
公衆衛生	生涯を通じた健康づくり・栄養改善推進のため、専門知識の普及に努め、県民の健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に貢献することを目指す。平成29年度は地域活動事業部、勤労者支援事業部と合同で研修会を開催予定。
地域活動	県民の健康づくりを支援するため、毎年、本会は県、市、関係団体からの委託事業を請け、「食育」「生活習慣病の予防」「外食料理栄養成分表示」などの業務を実施しているが、地域活動事業部会員はその大事な担い手となっている。このため、常に実践で活躍できる会員の育成を目指し、スキルアップ研修を企画、実施する。また、仲間づくりも重要であるため、会員同士の交流を図る。29年度は、栄養ケア・ステーション事業を見据え、他職種との連携を推進する。
福 祉	乳幼児から高齢者、障害者などを支える幅広い福祉職場の仲間との情報交換会の開催計画や質の高い栄養ケアが実践できるよう、ケアマネジメントに関する勉強会を計画し技術の向上を図る。また、会員同士の「つながり」の構築を目指し、会員増に取り組む。

② 研修部 運営方針

各種研修会や講演会の企画・立案・実行等の運営及び調整(生涯教育基本、実務、演習等)
 学術研究発表会の企画・立案・実行等の運営及び調整
 研修事業の情報共有・啓発活動
 認定管理栄養士・栄養士の書類認定審査の確認
 生涯教育の単位振替、自己研鑽の単位審査、修了証書の発行等

③ 地区事業部 運営方針

各地区の実情に即した研修会を企画・実施し、会員の資質向上および会員間の連携・交流を図る。また、地域密着型のイベントを企画・開催することにより、公益法人として県民の健康長寿の延伸に寄与する。

- ・代表者会議において、9地区の企画・運営の調整
- ・多職種協働で、市町の利点を活かしたイベントに参加協力し、他職種との連携を強化する。
- ・研修事業部と協力し、各地区で参加しやすい研修会を企画する。
- ・会員増に向け、管理栄養士・栄養士の身近な情報発信を行う。

④ 静栄DAT 運営方針

災害時に、栄養支援活動の出来る職能団体としての資質を保持し続けるため、日本栄養士会が実施するJDA-DAT、県災害対策室とも連携強化を図る。また、災害支援で活躍できるスタッフ養成に29年度も取り組む(現在登録スタッフは約120名)。県市町の地域防災計画が具体的に進む中、早急な対応が栄養士会にも求められており、更なるスタッフ養成の研修会を開催する。また、JDA-DATリーダー育成研修会への参加者増も積極的に進めていく。

⑤ 会員増対策委員会

数年来、会員数は減少傾向を示しているため、本年度も、県内養成校および保健所と連携して、新卒者を対象とした事業を展開する。特に、栄養士(管理栄養士)登録時に、入会案内パンフを配付する取り組みについて、今年度も継続して実施する。また平成28年度から新規に交流会を開催するなど、魅力ある栄養士会、研修会となるように企画しているが、本年度は並行して会員の退会を減ずる取り組みを講じていく。

⑥ 顕彰選考委員会

多年にわたり栄養改善事業に尽力され、功績があった会員が受賞から漏れることが無く、多くの会員に受賞していただくために顕彰選考委員会を発足させる。現行の静岡県栄養士会表彰規定(平成11年5月17日施行・平成11年1月30日一部修正)を再考し、他県栄養士会との歩調を合わせながら表彰候補者推薦規定として整備し、表彰候補者の抽出や推薦方法の検討、推薦委員会の役割等を検討していく。表彰の種類は多く、静岡県栄養士会会長表彰、日本栄養士会会長表彰はもとより、静岡県知事表彰、厚生労働大臣表彰、公衆衛生事業功労表彰等々多くの顕彰候補推薦依頼がある。

(2) 関連団体会議への委員等就任

① 静岡県ふじのくに健康増進計画推進協議会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指し、いきいきとした健康社会の実現を図るため、静岡県の健康増進計画の策定と推進、評価、見直しなどについて協議する。

② 減塩55プログラム検討部会

主催者	静岡県健康福祉部健康増進課
内容	減塩に注目した健康長寿プログラム「減塩55プログラム」の普及にあたり、推進方法及び今後の展開等の検討を行う。

③ ふじのくに健康寿命日本一推進県民会議

主催者	静岡県健康福祉部長寿政策課
内容	高齢化が進行する中、長寿者をはじめとするすべての県民が、心身ともに健康を保ち、生きがいを持って社会の一員として活動できる社会を実現し、関係団体、企業、行政等が連携し、社会全体で「健康寿命日本一」を推進することを目的に、普及啓発、情報共有、情報交換等を行う。

④ 静岡県男女共同参画推進会議

主催者	静岡県くらし・環境部男女共同参画課
内容	家庭や地域、学校、職場など社会のあらゆる分野における男女共同参画の自主的な取組をより一層強化するため、民間団体の主体的な取組を推進するためのネットワーク組織である。会議には、男女共同参画の趣旨に賛同する80の民間団体が加入し、研修会などの自主的な取組を行っている。

⑤ 静岡市食育推進会議

主催者	静岡市健康づくり推進課
内容	食育基本法に基づき、第2次静岡市食育推進計画(平成25年度～29年度)の推進及び進行管理のため、市民や食育の推進に関係する団体が参加して協議する。

⑥ 静岡市在宅医療・介護連携協議会 部会

主催者	静岡市高齢者福祉課
内容	静岡市の在宅医療及び在宅介護の連携の推進に関する事業計画の策定にあたり、必要な情報交換を行うとともに、計画に基づく取り組みを継続的に推進する。

⑦ 静岡県8020推進住民会議

主催者	静岡県8020推進住民会議(事務局:静岡県歯科医師会)
内容	静岡県条例に基づき、8020推進運動をとおして、県民の健康な生活を確保し、健康寿命の延伸と生活の質の向上に寄与するため、8020推進員の育成及び様々な8020運動の普及啓発活動を実施する。

⑧ 静岡県保険者協議会

主催者	静岡県国民健康保険団体連合会
内容	「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、静岡県内の医療保険者が共通認識を持って、生涯を通じた加入者の疾病予防・健康づくりの推進を図るため、保険者間の問題意識の共有や、それに基づく取り組みの推進等を図り、医療提供体制について、静岡県が策定する静岡県保健医療計画の策定又は変更にあたって意見提出を行う。

⑨ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

主催者	静岡県健康福祉部長寿政策課
内容	県民が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるよう地域包括ケアシステムの構築を実現するため、医療・介護をはじめとする専門職の連携を強化し、市町における地域包括ケア推進体制の整備に繋げるため、地域包括ケア推進に関わりのある団体が意見交換する。

⑩ しずおか健康いきいきフォーラム21

主催者	公益財団法人 しずおか健康長寿財団
内容	県民が心身共に健やかに暮らすことができる“ふじのくに”づくりに向け、県民総参加の「健康づくり県民運動」の推進を図り、県民の健康増進に寄与するため、県民への健康づくりに関する普及啓発活動や各種団体の交流、研修事業等を行う。

公益社団法人静岡県栄養士会 平成29年度収支予算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引控除	合計	摘要
	公1	公2	共通	小計	取1	小計				
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										経常収益計 25,497,000円
基本財産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	◆公益目的事業 19,852,000円
中科目別配賦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	I 公1経常収益計 9,522,000円
特定資産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 専業収益 9,512,000円
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1) 幼児から始める食育講座 270,000円
受取入金	0	0	70,000	70,000	0	0	70,000	0	140,000	2) 食の環境整備事業(県委託) 800,000円
受取入金	0	0	70,000	70,000	0	0	70,000	0	140,000	3) 食品表示適正化・活用普及事業(県委託) 1,000,000円
受取会費	0	0	9,930,000	9,930,000	0	0	5,320,000	0	15,250,000	4) 外食栄養成分表示推進事業(富士宮市フードハレ一協委託) 500,000円
正会員受取会費	0	0	7,980,000	7,980,000	0	0	5,320,000	0	13,300,000	5) 飲食店等の栄養成分表示促進事業(生活衛生営業指導センター委託) 350,000円
賛助会員受取会費	0	0	1,950,000	1,950,000	0	0	0	0	1,950,000	6) 飲食店等の栄養成分表示促進事業(生活衛生営業指導センター委託) 590,000円
事業収益	9,512,000	0	0	9,512,000	10,000	10,000	0	0	9,522,000	7) 元氣を身につめる食生活推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 432,000円
栄養改善、健康づくり等事業収入	2,570,000	0	0	2,570,000	0	0	0	0	2,570,000	8) 指導者のための健康栄養セミナー(日本栄養士会委託) 432,000円
疾病予防、食生活改善及び食育等事業	1,372,000	0	0	1,372,000	0	0	0	0	1,372,000	9) 栄養ケア・メニュー推進事業 5,300,000円
栄養ケア・メニュー・その他販売事業	5,300,000	0	0	5,300,000	10,000	10,000	0	0	5,310,000	10) 広告掲載収入 270,000円
広告掲載料収入	270,000	0	0	270,000	0	0	0	0	270,000	2 雑収益 10,000円
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	展示コマ代 @5,000円×2社(在宅介護者への食生活指導研修会)
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	II 公2経常収益計 330,000円
受取負担金	0	150,000	0	150,000	0	0	0	0	150,000	1 受取負担金 150,000円
受取負担金	0	150,000	0	150,000	0	0	0	0	150,000	2 雑収益 180,000円
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	展示コマ代 @5,000円×36社
雑収益	10,000	180,000	0	190,000	0	0	245,000	0	435,000	(地区研修3社、プロック研修6社、フレックスマン研修2社、栄養士大会10社、生涯教育基本3社、生涯教育実務8社、生涯教育実務8社、災害時栄養支援研修4社)
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	III 共通 10,000,000円
雑収益	10,000	180,000	0	190,000	0	0	245,000	0	435,000	1 受取入金 70,000円(新入会員@1,000円×70人)
経常収益計	9,522,000	330,000	10,000,000	19,852,000	10,000	10,000	5,635,000	0	25,497,000	2 受取会費 9,930,000円(正会員費7,980,000円、賛助会費、1,950,000円)

科目	公益目的事業等会計				収益事業等会計		内訳取引控除	合計	摘要
	公1		公2		共通				
	取1	小計	取1	小計	取1	小計			
(2) 経常費用									経常費用計 25,154,000円
事業費	16,833,576	3,570,353	0	20,403,929	45,075	45,075	0	20,449,004	◆公益目的事業 20,403,929円 I 公1経常費用計 16,833,576円
材料費	0	0	0	0	1,000	1,000	0	1,000	1) 健康栄養知識普及事業 394,625円
給付手当	3,376,077	676,437	0	4,052,514	24,376	24,376	0	4,076,890	2) 健康づくり啓蒙協力事業 278,676円
福利厚生費	432,874	86,691	0	519,365	3,124	3,124	0	522,489	3) 在宅介護者への食生活指導講演会 178,800円
会議費	35,000	28,000	0	63,000	0	0	0	63,000	4) 幼児から始める食育講座(県委託) 444,951円
旅費交通費	1,393,085	1,681,605	0	3,074,690	3,435	3,435	0	3,078,125	5) 食の環境整備事業(県委託) 944,625円
通信運搬費	893,799	104,967	0	998,766	2,889	2,889	0	1,001,655	6) 食品表示適正化・活用普及事業(県委託) 1,181,825円
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	7) 外食栄養成分表示推進事業(富士宮市フード・ドレシー協委託) 640,575円
研究研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	8) 飲食店等の栄養成分表示活用推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 511,200円
消耗品費	1,041,704	130,532	0	1,172,236	1,344	1,344	0	1,173,580	9) 元氣多見つめる外食活用推進事業(生活衛生営業指導センター委託) 755,250円
修繕費	68,760	13,080	0	81,840	360	360	0	82,200	10) 指導者のための健康栄養セミナー(日本栄養士会委託) 480,125円
印刷製本費	255,730	1,090	0	256,820	30	30	0	256,850	11) 栄養ケア・ソリューション推進事業 8,798,450円
広報費	0	0	0	0	0	0	0	0	12) 県民栄養講座に関する事業 188,800円
光熱水料費	56,154	10,682	0	66,836	294	294	0	67,130	13) 広報事業 2,039,674円
賃借料	601,720	212,280	0	813,980	1,920	1,920	0	815,900	II 公2経常費用計 3,570,353円
地代家賃	871,533	185,789	0	1,037,322	4,563	4,563	0	1,041,885	1) 定時総会講演会他各種研修会 1,797,951円
贈謝金	7,117,865	377,545	0	7,495,410	15	15	0	7,495,425	2) 地区別健康づくり推進研修会 848,951円
租税公課	226,335	43,055	0	269,390	1,185	1,185	0	270,575	3) 生涯教育基本研修会 612,875円
保険料	68,760	13,080	0	81,840	360	360	0	82,200	4) 災害時栄養支援研修会 310,876円
渉外費	22,920	23,360	0	46,280	120	120	0	46,400	◆収益事業費用計 45,075円 販売等の事業 45,075円
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	◆法人会計経常費用 4,704,996円
委託費	360,000	0	0	360,000	0	0	0	360,000	
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	11,460	2,180	0	13,640	60	60	0	13,700	

科目	公益目的事業等会計			収益事業等会計		内部取引控除	合計	摘要
	公1	公2	共通	小計	取1			
管理費						0	4,704,996	
役員報酬						0	0	
給料手当						2,017,110	2,017,110	
退職給付費用						0	0	
福利厚生費						258,511	258,511	
会議費						106,000	106,000	
旅費交通費						360,675	360,675	
通信運搬費						303,345	303,345	
減価償却費						0	0	
消耗品費						141,120	141,120	
修繕費						37,800	37,800	
印刷製本費						3,150	3,150	
広報費						0	0	
光熱水料費						30,870	30,870	
賃借料						201,600	201,600	
地代家賃						479,115	479,115	
贈謝金						1,575	1,575	
租税公課						124,425	124,425	
保険料						37,800	37,800	
交際費						12,600	12,600	
委託費						583,000	583,000	
有価証券運用損						0	0	
雑費						6,300	6,300	
経常費用計	16,833,576	3,570,353	0	20,403,929	45,075	4,704,996	25,154,000	

科目	公益目的事業等会社				収益事業等会社			内部取引控除	合計	摘要
	公1	公2	共通	小計	取1	小計	法人会社			
評価損益等調整前当期経常増減額	△7,311,576	△3,240,353	10,000,000	△551,929	△35,075	△35,075	930,004	0	343,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△7,311,576	△3,240,353	10,000,000	△551,929	△35,075	△35,075	930,004	0	343,000	
2. 経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計系費額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△7,311,576	△3,240,353	10,000,000	△551,929	△35,075	△35,075	930,004	0	343,000	

資金調達及び設備投資の見込みについて

事業 年度	自	平成29年4月1日	法人コード	A005293
	至	平成30年3月31日	法人名	公益社団法人静岡県栄養 士会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
		円	